令和７年度毛呂山町一般会計当初予算案の概要

毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

FOR THE FUTURE

令和７年度毛呂山町一般会計当初予算案

当初予算額としては
過去最大規模

予算総額

118億600万円

（対前年度比　９億５千１００万円　＋８．８％）

令和７年度当初予算キャッチフレーズは‥

誰もが健幸で
夢と希望に満ちあふれる
もろやま パワーアップ予算

令和７年度毛呂山町一般会計当初予算案

基本理念・基本方針

町の将来像「みんなでつくる　住みやすいまち
住み続けたいまち　もろやま」の実現

①少子化対策プロジェクト

結婚や出産など、若い世代の希望を叶え、安心して子育てができるまちづくりを目指します。

③健幸づくりプロジェクト

住民一人ひとりが心身ともに健やかに、住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。

②未来を担う子ども育成プロジェクト

充実した学習環境の提供により学力向上を目指し、子どもの自己肯定感や将来を切り拓く力を育みます。

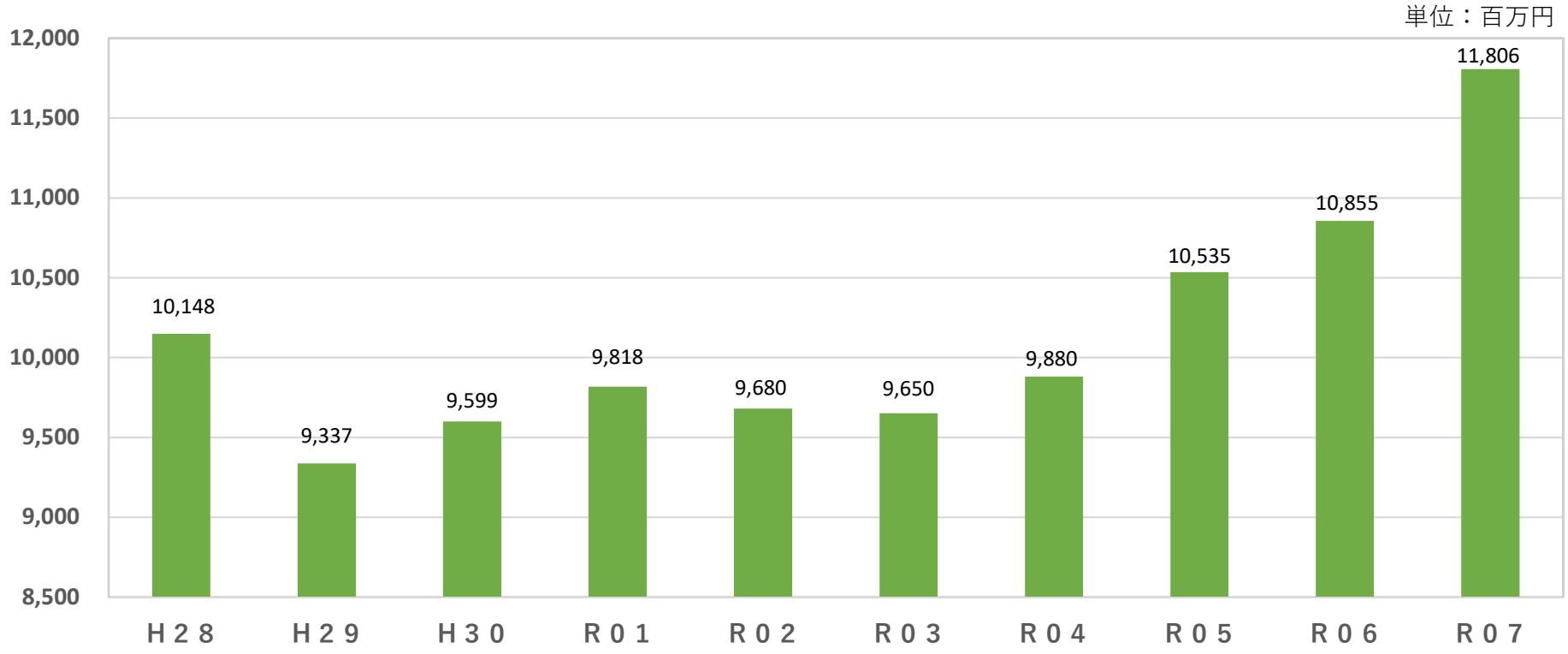
３つのリーディングプロジェクトを柱に、脱炭素化事業や防災対策など町の重要課題解決を図り、「住みたい」「住み続けたい」まちづくりを進めます。

予算総額：１１８億６００万円（対前年度比　９億５千１００万円　＋８．８％）

一般会計当初予算額の推移

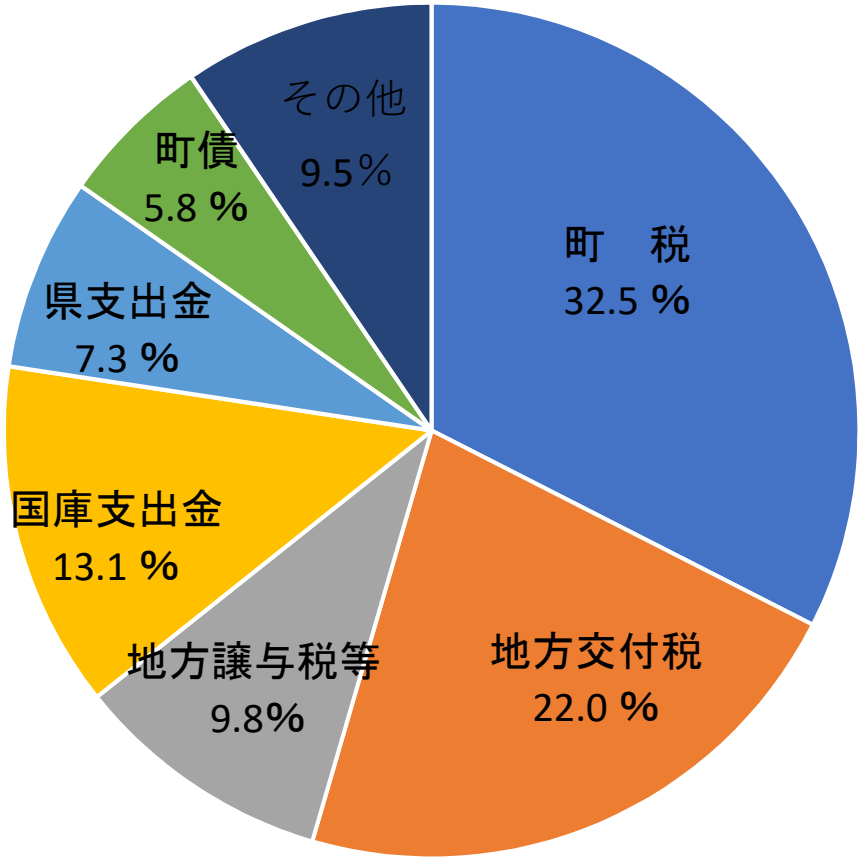
単位：百万円・％

年度	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
規模	10,148	9,337	9,599	9,818	9,680	9,650	9,880	10,535	10,855	11,806
伸率	2.1	△ 8.0	2.8	2.3	△ 1.4	△ 0.3	2.4	6.6	3.0	8.8



歳入予算について

歳入構成比



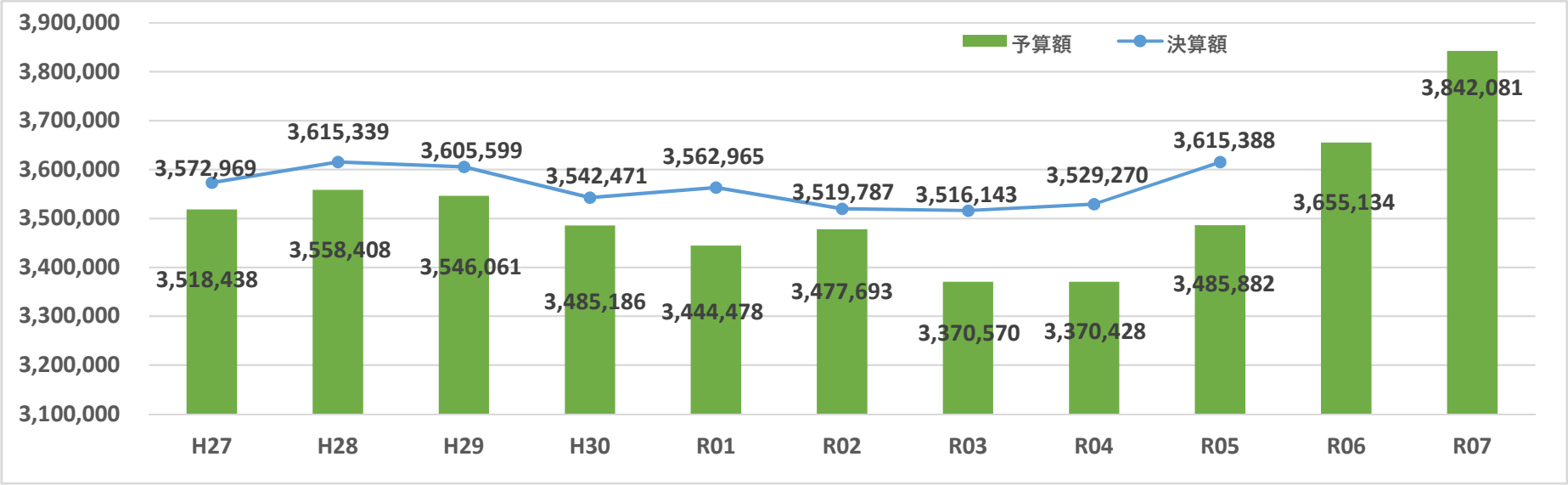
款　別		令和７年度	
		予算額（千円）	構成比（%）
町税		3,842,081	32.5
地方交付税		2,595,000	22.0
地方譲与税等		1,168,548	9.8
国庫支出金		1,552,442	13.1
県支出金		864,314	7.3
町債		685,900	5.8
その他	繰入金	684,453	5.8
	繰越金	150,000	1.3
	諸収入	109,755	0.9
	使用料及び手数料	66,920	0.6
	分担金及び負担金	42,479	0.4
	寄附金	35,302	0.4
	財産収入	8,806	0.1
合　計		11,806,000	100.0

町税の内訳と推移

項別	令和７年度		令和６年度		比較増減	
	予算額（千円）	構成比（%）	予算額（千円）	構成比（%）	増減額（千円）	伸率（%）
町民税	1,720,850	44.8	1,664,709	45.5	56,141	3.4
固定資産税	1,664,507	43.3	1,540,143	42.1	124,364	8.1
軽自動車税	108,908	2.8	104,653	2.9	4,255	4.1
町たばこ税	237,013	6.2	237,640	6.5	△627	△0.3
都市計画税	110,803	2.9	107,989	3.0	2,814	2.6
合　計	3,842,081	100.0	3,655,134	100.0	186,947	5.1

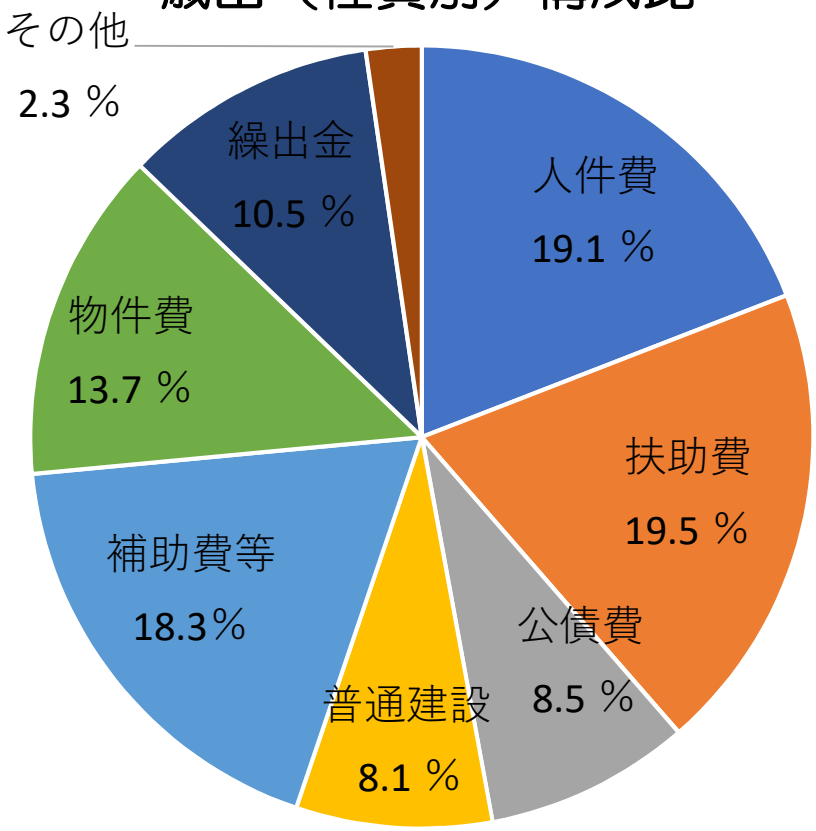
町税（当初予算額と決算額）の推移

（単位：千円）



歳出（性質別）のポイント

歳出（性質別）構成比

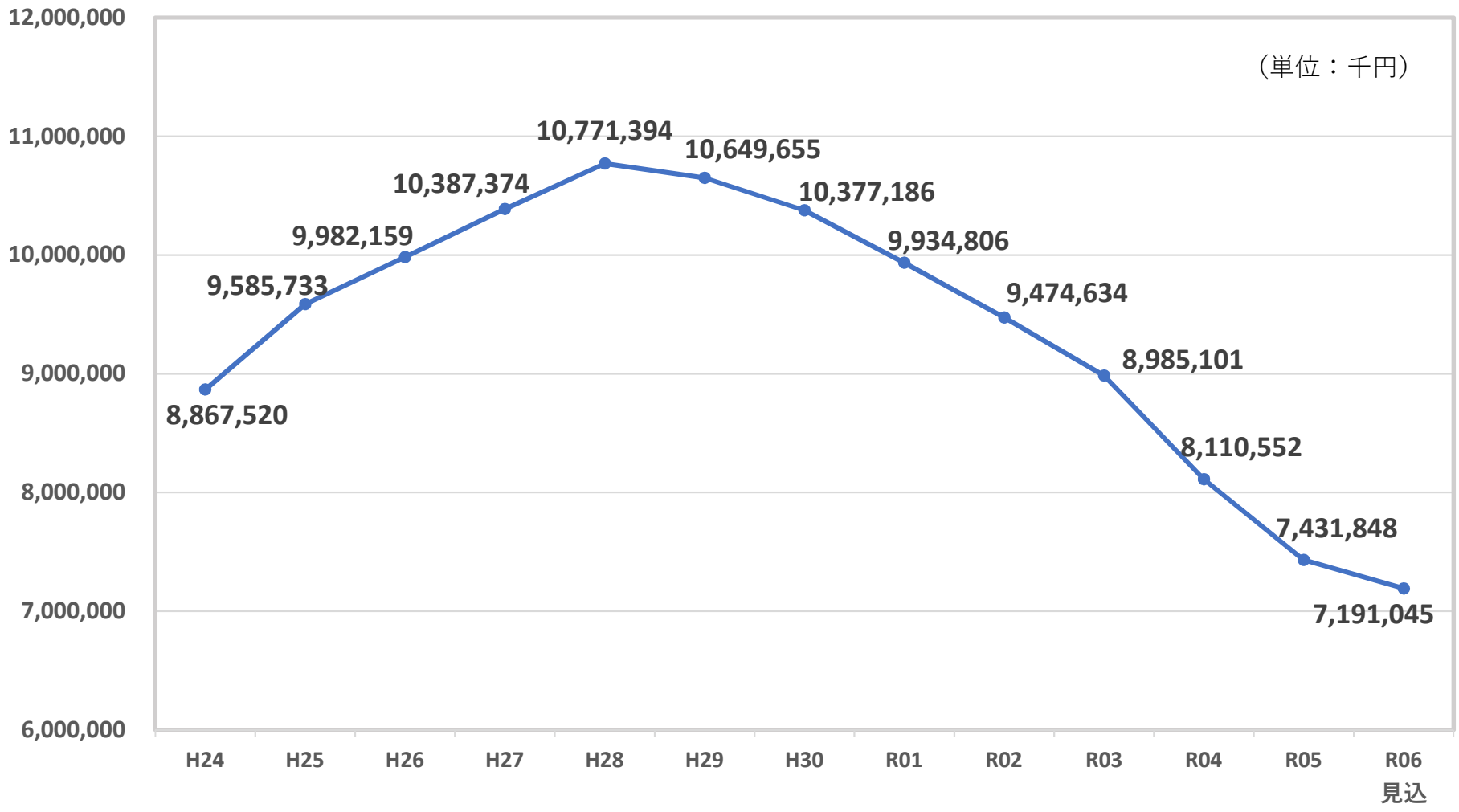


扶助費の割合が高く、全体の約20%を占めており、人件費、公債費を含めた義務的経費全体では47.1%と歳出全体の約半分を占めている
なお、扶助費については、主に社会保障関連経費で構成されており、高齢化率の上昇に伴い、今後も高い水準が予想されるため、財源確保策に取り組んで行く必要がある

区分			令和７年度	
			予算額（千円）	構成比（%）
消費的経費	義務費	人件費	2,249,349	19.1
		扶助費	2,298,311	19.5
		公債費	1,008,540	8.5
	小　計（義務的経費）		5,556,200	47.1
	物件費		1,613,893	13.7
	維持補修費		21,207	0.2
	補助費等		2,163,022	18.3
	小　計（消費的経費）		9,354,322	79.3
投資的経費	普通建設	補助事業費	247,605	2.1
		単独事業費	710,986	6.0
	その他の事業費		0	0.0
	災害復旧事業費		6	0.0
	小　計（投資的経費）		958,597	8.1
その他経費	積立金		224,613	1.9
	投資及び出資金		0	0.0
	貸付金		3,500	0.0
	繰出金		1,244,968	10.5
	予備費		20,000	0.2
	小　計（その他経費）		1,493,081	12.6
合　計			11,806,000	100.0

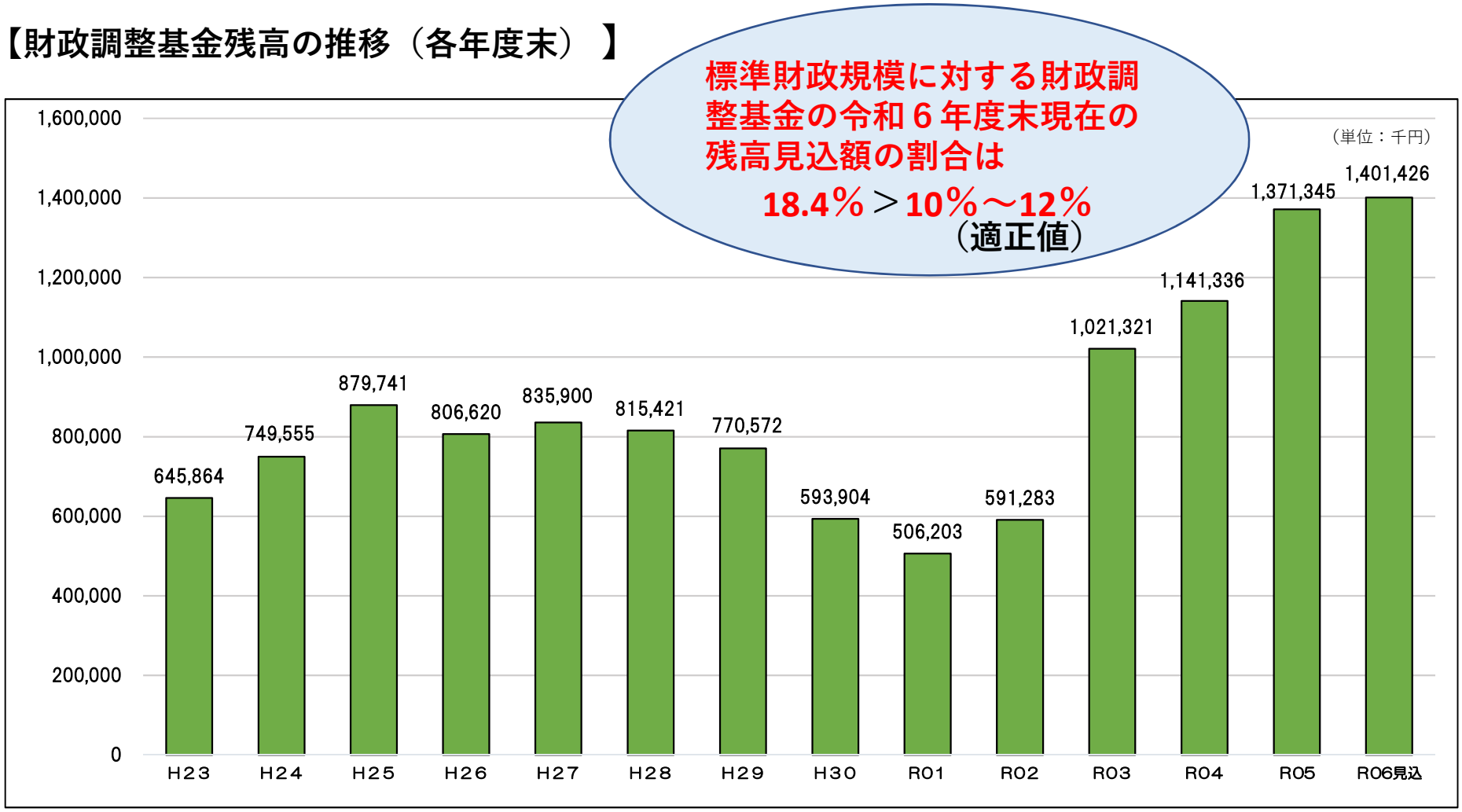
地方債の残高について

地方債残高の推移（各年度末）



基金の現状について

【財政調整基金残高の推移（各年度末）】



※財政調整基金は、年度間の財源の不均衡を調整するための積立金で、一般的に標準財政規模の10％～12％が適正保有額とされている。本町における標準財政規模に対する財政調整基金の残高見込額の割合は18.4％であり、必要十分な額を満たしていると言える。

新規・重点事業の概要

①　少子化対策プロジェクト

ー若い世代の希望を叶え、
安心して子育てができる毛呂山町へー

令和７年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE FUTURE

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	企画財政課	企画係

事業名	**結婚新生活支援事業**
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	１，５００千円（うち一般財源５００千円）

目　的

結婚して新生活を始める新婚世帯の経済的負担の軽減を図るため、新婚世帯が住む賃貸住宅の家賃等を補助する。

対象経費

◆賃料　◆敷金　◆礼金

◆共益費　◆仲介手数料

補助額

要　件	補助額
婚姻日の年齢が２９歳以下の夫婦	上限 ６０ 万円
婚姻日の年齢が３９歳以下の夫婦	上限 ３０ 万円

対象世帯

◆令和７年１月１日から令和８年３月３１日までに婚姻届が受理された夫婦

◆夫婦ともに３９歳以下

◆申請日に夫婦共に毛呂山町に住民登録がある

◆夫婦の所得が５００万円未満である

◆２年以上継続して本町に居住の意思がある

◆夫婦ともに町税等に滞納がないこと　など

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	企画財政課	企画係

事業名	定住促進補助事業（拡充）
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	７，０００千円（うち一般財源７，０００千円）

目的

現在実施している「毛呂山町定住促進補助金事業」に、新たに「空き家の購入に対する補助」を加え、更に子育て世帯の移住及び定住並びに町内空き家の利活用を図る。

現行

区分	補助対象者	◆補助率 ◆上限額	加算額
新築	◆申請者もしくはその配偶者が39歳以下 ◆18歳以下の子がいる世帯	◆費用の１/１０ ◆上限３０万円	－
	【加算】 町内事業者で施工	－	１０万円
	【加算】 町外から転入	－	１０万円
リフォーム工事	町内の空き家を購入した者	◆費用の１/２０ ◆上限２０万円	－
	【加算】 町内事業者で施工	－	１０万円
	【加算】 町外から転入	－	１０万円
	【加算】 子育て世帯	－	１０万円

拡充後

区分	補助対象者	◆補助率 ◆上限額	加算額
新築	現行と同じ		
空き家購入	**◆申請者もしくはその配偶者が39歳以下 ◆18歳以下の子がいる世帯**	**◆費用の１/１０ ◆上限３０万円**	－
	【加算】町内事業者から購入	－	**１０万円**
	【加算】町外から転入	－	**１０万円**
	【加算】購入に伴いリフォーム工事を行った場合	－	**１０万円**
リフォーム工事	◆加算措置の内、「子育て世帯」を削除 ◆その他は現行と同じ		

拡充分

※補助対象住宅などの要件は、現行と変更なし

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	子ども課	保育係

事業名	第２子保育料無償化事業
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	１５，５７１千円（うち一般財源１５，５７１千円）

大学生年代までの扶養者を第１子にカウントＯＫ！

毛呂山町在住で認可保育所・認定こども園・小規模保育事業を利用する

第２子の保育料を無償化します！

世帯所得の制限なし！

第２子を願う世帯のために

- 保育料は子育て世帯にとって最初に感じる金額の壁。
- 第２子の保育料を無償化することで、第２子への費用に対する不安を軽減。

毛呂山町で第２子を産み、育てていこうとする世帯を後押し！！！

事業対象：以下の条件をすべて満たす児童

（1）毛呂山町在住の児童
（2）認可保育施設等の０～２歳クラスに在籍
（3）世帯の第２子以降の児童
（4）きょうだいを含めて保育料の滞納がない
※町外の認可保育施設等に通う児童も対象

第２子保育料無償化事業の開始に伴う変更点

いままで（令和７年３月３１日まで）

きょうだい児が小学生以上の場合、第１子としてカウントできない。
きょうだい児の年齢により第２子扱いとならず、保育料負担が発生する。

これから（令和７年４月１日から）

きょうだい児は大学生世代までを第１子としてカウントできる。
大学生年代までのきょうだい児（扶養者）を第１子とカウントすることで、第２子無償化事業の対象となる児童を拡大。

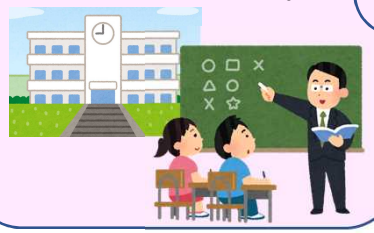
新規・重点事業の概要

令和７年度	重点事業概要書	子ども課	子育て支援係

事業名	放課後児童健全育成事業
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	７０，３１３千円（うち一般財源１５，１１３千円）

保護者が自宅勤務や短時間勤務、高学年になり学童を退所した場合など…

学校がある日は、
大丈夫だけど・・・。



仕事が
進まない

夏休みの間は
働けない

**夏休みの
過ごし方が課題**

R5.7アンケート
学童を利用しない66家庭のうち
45家庭が長期休業日の利用を希望

１日子どもだけで
過ごすのは心配

令和6年度　学童保育所職員を増員し、受入体制を準備

令和7年度　夏休みの利用受入を開始

夏休みも
働けるなら
仕事の選択肢が
増える!!

学童保育所に
預けられるから
安心!!

新規・重点事業の概要

令和７年度	重点事業概要書	管財課	管財係

事業名	都市公園遊具等整備事業（前久保中央公園）
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	５，３３２千円（うち一般財源５，３３２千円）

■整備の目的

若手職員による町の課題解決プロジェクトチーム提案事業。
市街化区域内の都市公園において、老朽化した遊具の更新を図ることで、町の魅力度をアップし、子育て世代の定住を図る。
加えて「健幸まちづくり」の観点から、高齢者の健康促進のため、健康遊具を設置する。

■予想される事業の効果

- **子育て世代の定住促進**
- **子供たちの安全なあそび場づくり**
- **高齢者の健康促進**
- **公園遊具の安全性向上**

【参考】事業計画（Ｒ５・Ｒ６は当初予算額）
①R5：7,349千円
（めじろ公園・伴六遺跡公園）
②R6：7,813千円
（長瀬駅南口公園・健康広場）
③R7：5,332千円
（前久保中央公園）

①パラレルハンガー
MET'S 7.0～9.0（きつめ）

②腹筋・足あげ
MET'S 2.8～3.8（やさしめ）

③ストレッチフープ
MET'S 2.5（やさしめ）

新規・重点事業の概要

令和７年度	重点事業概要書	管財課	管財係

事業名	子育て世帯住宅支援事業
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	３，６４１千円（町営住宅長寿命化計画策定業務委託料）

■事業の目的　～「少子化対策プロジェクト」の取組～

○町営住宅の空き住戸を活用し、主に町外の「子育て世帯」「若者夫婦世帯」を対象とした住宅支援を行うことにより定住を促進させる。

■手段・手法　～町営住宅の空き住戸を活用～

○公営住宅の「目的外使用制度」を活用し、本来入居要件を持たない「子育て世帯等」受け入れる。

○「子育て世帯等」の経済的負担を軽減するため、低廉な家賃設定とする。

○比較的間取りに余裕のある「杉ノ入団地」の空き住戸でR7年2月より募集を開始した。

○町営住宅全体の長寿命化改修計画を策定。子育て世帯等対応型整備についても検討する。

■募集の概要　～子育て世帯等への支援制度の内容～

■募集住戸数等

○場所：毛呂山町営 杉ノ入団地
○募集戸数：５戸（随時受付・先着順）
○間取り：３ＤＫ・３ＬＤＫ・４ＤＫ
○使用料：上限額 月額４５，０００円 ※世帯構成・収入状況により個別に算定

■入居世帯の要件

世帯の状況が、以下のア、イ又はウ何れかの要件を満たす方で、ア、ウの場合は、初回の入居手続時点で、毛呂山町以外に住所登録されている世帯であること

ア【若者夫婦世帯（町外）】夫婦のみで構成される世帯であり、かつ夫婦の年齢が何れも３９歳以下であること。

イ【新婚夫婦世帯】 申し込み期間の開始日において婚約中であり、かつ住宅の引き渡し日までに婚姻の届出を行う予定の夫婦のみで構成される世帯であり、かつ夫婦の年齢が何れも３９歳以下であること。

ウ【子育て世帯（町外）】同居する１８歳未満の子を扶養する者であること。

■子育て世帯等の視点から

○将来的な経済負担が心配。
○転勤や転職の可能性もある。
○子育てに適した間取りの賃貸物件を探したい！
○マイホーム資金も貯めたい！

■杉ノ入団地外観

■町立保育園（約2.0km）

■大学病院に近接

新規・重点事業の概要

② 未来を担う子ども育成プロジェクト

ー充実した学習環境の提供により、
子どもの自己肯定感や将来を切り拓く力を育みますー

令和７年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE FUTURE

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	学校教育課	指導係

事業名	小学生ステップアップ教室
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	２２,５７８千円（うち一般財源２２，５７８千円）

児童一人ひとりの学習状況に応じた、外部講師によるグループ別指導を通して「できた喜び」を積み重ね、自己肯定感を育むことで、基礎学力の定着と学習習慣の確立を目指す。

ステップアップ教室カリキュラム

	月曜日	水曜日	金曜日
14:50~15:35	英語	授業	授業
15:35~15:45	休憩	休憩	休憩
15:45~16:30	算数	国語	算数

1．民間学習塾のノウハウを生かし、個々のレベルに応じたプリントを使った学習を実施
2．アンケートや、学習状況確認テストを実施し、個々の傾向を分析した学習設計

対象児童と学習内容

- 対象児童：小学５、６年生
- 国語：文章問題の読解力に特化した学習
- 算数：児童の苦手な所を補うような計算問題や、思考力を身に付けるような学習
- 英語：英語検定５級程度の学習

ステップアップ教室導入のメリット

- 外部講師によるグループ別指導を通して、児童が質問しやすい学習環境作り、個々の学習の状況に応じた丁寧な学習支援を行い、基礎学力を向上させることができる
- 個々の学習進度に応じて問題の出題を行うことで、それぞれの児童生徒に合わせた学習を提供することができる
- 小学校で学習教室を行うことで、送迎等の保護者負担が減り、より多くの児童に学習機会の提供ができる

学校との連携

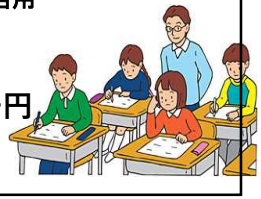
- 個々の取組状況から、学習のつまずき、理解の傾向について分析と効果検証を行い、毎月、学校に報告書を提出
- 担任や教科担当者が、報告書を確認し、学校での学習指導に生かす

ステップアップ教室実施スケジュール

4月～5月　参加児童募集・グループ決定
6月～3月　週３日、ステップ・アップ教室実施
2月～3月　全国・埼玉県学力・学習状況調査類似問題を活用

歳出額の内訳

■委託料（R7.6月～3月の10か月分） 22,439千円
■消耗品費　20千円　■保険料　119千円



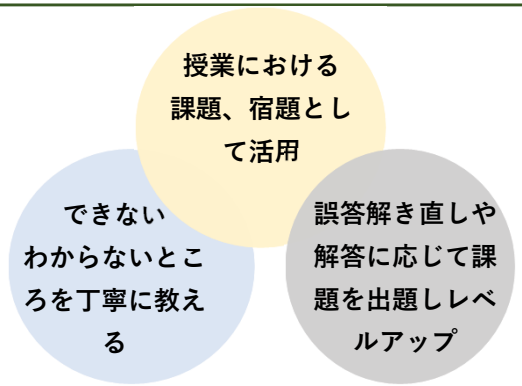
新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	学校教育課	指導係

事業名	ＡＩドリル活用事業
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	４,０４８千円（うち一般財源２，０２４千円）

日常的にＩＣＴを活用することのできる学習環境を整備し、授業での活用や家庭学習において個々の学習進度に合わせて個別最適な学びの提供を行うことで、基礎学力の定着を図り、町全体で学力を向上させる。

ＡＩドリル導入のメリット



・主要５教科において教科書に準拠した問題の出題を行うことで、授業での活用はもとより、宿題や家庭学習に活用することでこれまで保護者負担としていたドリルなどの**教材費を軽減**させることができる。
・**個々の学習進度に応じて問題の出題**を行うことで、それぞれの児童生徒に合わせた学習を提供することができる。
・ＡＩドリルが**できない、わからないところを丁寧に教える**ことが可能。

ＡＩドリルにより見込める効果

基礎学力アップ

取り組んだ学習履歴に基づき、最適な問題を提案して、苦手を克服して、得意分野を伸ばすことで、基礎学力のアップを図ることができる。

主体的な学びの習慣づけ

過去にＡＩドリルのトライアルを導入した際においても、普段家庭学習しない児童生徒においても主体的に学習を進めることができていたことから主体的な学びの習慣づけが可能。

教員サポート

ドリルの取り組み状況を一覧で確認して児童生徒の取り組み状況や学習レベルを把握することができ、授業や指導に活かすことができる。

歳出額の内訳

■使用料（R7.4月～3月の12か月分）　4,048千円

ＡＩドリル利用料
小学生1,019人　中学生602人　予備20人

■歳入　国庫補助金を活用　補助率１／２
（新しい地方経済・生活環境創生交付金）

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	学校教育課	学務係

事業名	町立中学校修学旅行費補助事業
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	１４，２１０千円（うち一般財源１４，２１０千円）

町立中学校が実施する修学旅行費に対する補助により、町が中学生に思い出をプレゼント

対　象：町立中学校において実施する修学旅行参加生徒の保護者
補助金：14,210千円
申請等：保護者は、補助金申請に対する申請、実績報告などを行う権限を学校長に委任し、委任を受けた校長が事業計画や事業経費一覧を作成し、町に対して申請、事業実施、実績報告等を行う。

毛呂山町立中学校で学ぶ子どもたちの素敵な思い出づくりを町がサポート

企業誘致施策の成果を子どもたちに還元し、子育て支援策を充実
第六次毛呂山町総合振興計画で掲げる町の将来像の実現を目指す

- **子育て世帯の経済的負担軽減** ▶▶ 経済的負担の軽減により、子育て世帯を支援する。
- **子どもたちの健全育成** ▶▶ 修学旅行という学びの機会に対する支援により、子どもたちの 健やかな成長を支える。
- **町への愛着形成** ▶▶ 中学校での楽しい思い出づくりを応援し、子どもたちの「郷土毛呂山に対する愛着」を育む。
- **「子育てしたいまち」としての魅力向上** ▶▶ 新たな子育て支援事業の実施により、町の魅力向上を図る。

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	教育センター	

事業名	中学生海外留学事業
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	６，１９０千円（うち一般財源６，１９０千円）

中学生が海外留学によって、異文化交流や親善を深め、国際理解の促進及び英語の語学向上を図る。

夢をもち世界へはばたく毛呂山の子ども

留学先　オーストラリア連邦 クイーンズランド州 ブリスベン

留学期間 ：令和7年7月28日（月）～8月4日（月）（8日間）

留学生徒 10名（毛呂山中5名、川角中5名）、**引率者**（教職員）**2名　合計 12名**

【主な事業概要】
現地校での交換・交流プログラム、ホームステイによる生活体験
語学学校での英語学習、教育文化施設等の視察

【行程表】

1日目：壮行会(役場14：00)、役場発(15：00)－成田国際空港着(18：00)ー 出国(20:50発)
2日目：ブリスベン空港着(6:45)ー現地校移動ー交流プログラム(9:00-15:00)
3日目：交流プログラム・フェアウエルパーティー（9:00-15:00）
4、5日目：ホームステイ先から語学学校ー研修プログラム(英語学習)、市内観光
6日目：学校休日・ホストファミリーと終日共に過ごす
7日目：学校休日・ホストファミリーとお別れ、市内観光
8日目　ブリスベン空港発（9：30）ー成田国際空港着（17：40）ー役場着(22：00予定)

教育的効果

■現地の方との相互交流や意見交換を通じて、国際理解や国際感覚を養う。また、毛呂山町の魅力を自ら伝えることで郷土愛を育む。

■留学を通して身に付けた英語力や多様な価値観等を引き続き生かし、学校や地域社会において国際理解を推進する。

■現地で学んだ学習内容や交流会活動等、留学で得た知識や体験を広く伝え、発表の機会を設ける。また、次年度に留学する生徒に対し、アドバイザー的役割を担いリーダーシップを養う。

事業費の内訳

委託料（**債務負担行為**）　**事業総額 8,225千円**
（令和6年度 2,035千円、令和7年度 6,190千円）

■一人あたり　生徒837,030円、引率849,630円(添乗員等の諸経費含)

■航空運賃等、研修費用（現地学校との交歓・交流プログラム）、ホストファミリー謝礼等、海外旅行保険料、宿泊費、食事、施設等の入場料等

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	学校教育課	学務係

事業名	**特別支援学校給食費補助事業**
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	１，１９０千円（うち一般財源１，１９０千円）

特別支援学校に在籍している児童生徒の保護者に対し、給食費相当額を給付することにより、子育て世帯の負担軽減を図る。

対象者：①及び②に該当する児童生徒
①毛呂山町の住民基本台帳に記載されている
②特別支援学校に在学している
※学校給食に係るほかの補助金等を受給している場合は、補助金等を控除した額を給付する。

手続き：保護者が補助金交付申請書兼請求書と必要書類を学校教育課学務係へ提出

必要書類：①在学証明書、又は学生証の写し
②特別支援教育就学奨励費等の給食費の支払金額のわかる書類
③学校給食に係るほかの補助金の金額のわかる書類
（②・③は該当者のみ）

金額：毛呂山町の給食費を上限額とし、実費額と上限額のいずれか小さい額

在籍人数：特別支援学校小学部　２０人
特別支援学校中学部　１９人　　３９人

対象人数：特別支援学校小学部　１２人
特別支援学校中学部　１１人　　２３人

事業費：☆給食費
小学生29,920円×4人=119,680円（県から半額補助）
小学生55,220円×8人=441,760円（補助なし）
中学生32,560円×3人= 97,680円（県から半額補助）
中学生66,330円×8人=530,640円（補助なし）
☆通信運搬費
案内通知・支給通知110円×39人×4回=17,160円

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	歴史民俗資料館	

事業名　**史跡鎌倉街道上道公有化事業**

※一般補助施設整備等事業債（充当率：90％、交付税措置率：30％）

事業概要　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

事業費　１６１，８３３千円（うち一般財源３，２７３千円）

国指定史跡である鎌倉街道上道の保存・管理・整備・活用という、史跡全体のマネジメントを毛呂山町の責任において一元的に進めるため、公有化を行う。

公有化が必要な理由

①歴史的・文化的価値が高い史跡の適切な保存管理

・地方公共団体が所有することで、専門的見地から保存管理を強化

②所有者の経済的負担軽減

・所有者個人の負担で、個々の土地の整備をするのは不可能

・史跡保存管理事業は、地方公共団体が公有化を進め、実施することが現実的

③調査研究・教育普及の活発化

・公有化により、所有者の承諾、現状変更の事務負担が軽減。

・史跡の調査・研究の成果を踏まえた普及啓発事業や史跡の本質的価値を伝える整備が進むことで、鎌倉街道上道に対する理解は確実に深まる。

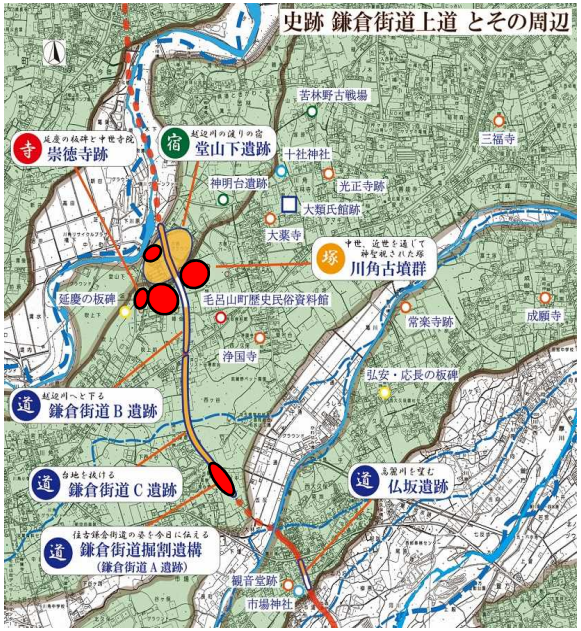
④文化資源としての価値の向上

・公有化を経て整備が進み、地域史の教材としての活用が進む。

・文化観光の素材としての活用が進む。

・史跡を活用した地域コミュニティの活性化

鎌倉街道上道



史跡公有化予定箇所概念図

公有化予定箇所（赤丸部分）

・大類グラウンド臨時駐車場　・崇徳寺跡南側

・川角古墳群　・鎌倉街道掘割遺構

※史跡全体面積**86,496.96㎡**のうち民有地分**43,723㎡**

③　健幸づくりプロジェクト

ー毛呂山町に暮らす全ての住民が心身ともに健やかに
住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちへー

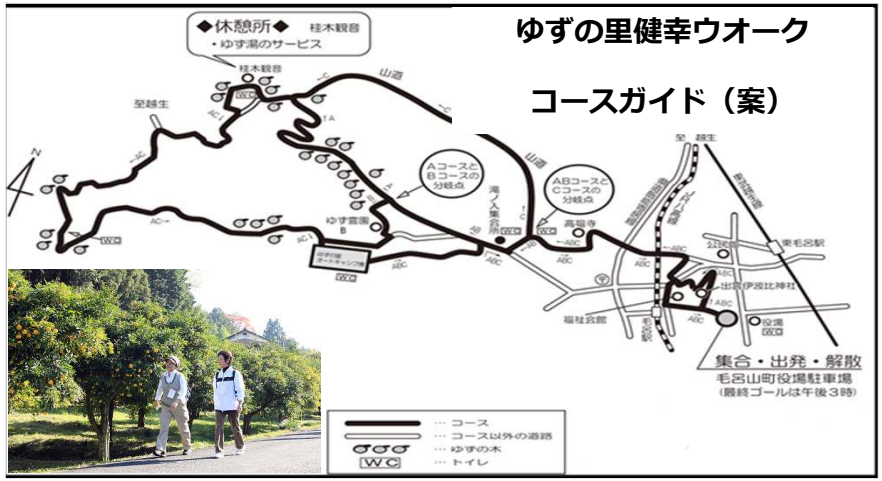
令和７年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE FUTURE

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	生涯学習課	スポーツ振興係

事業名	ゆずの里健幸ウォーク事業
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	２，５００千円（うち一般財源２，５００千円）



“歩いて健幸”を合い言葉に！

毛呂山町の特産である“桂木ゆず”の旬の時期に町内外問わず参加できるウォーキングイベントを開催する。
ただ歩くだけでなく、健幸にちなんだ測定ブースやキッチンカーの物販などを予定。住民の健康増進と観光面での賑わいを両立したイベントとする。

セレモニー

受付にてウォーキングマップやリーフレットの配布を行う。
スタート前には、毛呂山町オリジナル健康体操の実施やウォーキングについてのアドバイス等を行う。

コース

A　役場→滝ノ入山道→桂木観音→役場
B　役場→滝ノ入地内→桂木観音→役場
C　役場→林道滝ノ入線→桂木観音→役場
※オートキャンプ場で休憩

概要

日　時:令和７年11月23日
午前8時～13時
参加費:500円(小学生以下無料)
募　集:町公式WEBサイト
広報誌等紙媒体
SNS等の活用　等

イベント

- **インボディ測定**
- **健康測定会**
- **ｳｫｰｷﾝｸﾞｱﾌﾟﾘ 登録会**
- **キッチンカー・物販**
- **キッズコーナー 等**

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	生涯学習課・保健センター	スポーツ振興係・保健係

事業名	町内健幸ウォーキング事業
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	９８１千円（うち一般財源９８１千円）

■概要　Ｒ５年度に作成した「もろやま健幸ウォーキングマップ」１０コースを利用し、LINE(GovTech Express)のチェックイン機能を活用したデジタルスタンプラリーを実施する。年間を通して複数の地点でチェックインを行い、２次元コードを読み込むと1ポイント貯まり、ポイントに応じた景品が当たる抽選に応募することができる。また、毛呂山町健康マイレージとも紐付け、ポイント変換もできるようにする。

■イベント実施　春に町内ウォーキング教室、秋にゆずの里健幸ウォーク等を実施し定期的にウォーキングイベントを実施する。

■マップの更新　上記スタンプラリーの位置情報に加え、農産物直売所等ウォーキングしながら楽しめる情報を掲載したウォーキングマップにリニューアルする。

イベントの流れ

◎町公式ＬＩＮＥに登録

◎コースに設置してある２次元コードを読み取る

◎町公式ＬＩＮＥからポイント取得トークが届く

◎〝抽選に応募する〟を選択すると、スタンプラリーメニューが表示されて「賞品への応募」、「所持ポイントの確認」「ポイント検索」等が可能となる

◎応募するコースを選択すると、記載されているポイントを消費し、各コースの応募手続きが行える

■予算(案)	積算	金額
謝　　礼	教室講師謝礼　15,000円×２回	30,000円
消耗品費	景品、雑費等	140,000円
保険料	1,301円×2回	2,602円
通信運搬費	70通×110円	7,700円
印刷製本費	健幸ウォーキングマップ更新（15,000部）	800,000円

●健幸ｳｫｰｷﾝｸﾞﾏｯﾌﾟの更新

・町内全世帯に一冊ウォーキングマップを配布し、町民の方が年間を通してウォーキングを楽しめる環境を整える。

・農産物直売所や観光情報等だけでなくウォーキングイベント情報も掲載する。

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	高齢者支援課	高齢者福祉係

事業名	脳の健康セルフチェック事業
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	５７２千円（うち一般財源５７２千円）

脳の健康度チェックツールを活用し、町民の早期の相談・受診につなげ、生活習慣を見直す機会や健康意識の高揚を目指します。

現状・事業のねらい

この段階で自身の変化に気づき、適切な対応をとることで、進行の遅延が可能となる。

多くの診断はこのタイミングで行われている。

軽度認知障害（MCI） → 軽度認知症 → 中度認知症 → 重度認知症

本事業のターゲット層

日常生活に支障が生じる段階

○軽度認知障害（ＭＣＩ）の兆候に早期に気づくことが可能となれば、自ら状態の回復や認知症への進行を遅延させるための行動（相談・受診）を起こすことが可能。
○生活習慣の見直しや認知症に対する理解の高まりが期待できる。

ＭＣＩ（軽度認知障害）とは
認知症予備軍とされ、認知機能に問題は生じているが、日常生活には支障のない状態。適切な対策を行うことで認知症の発症を遅らせることが可能となる。

令和７年度事業内容

ゆずフィット（平均年齢72.2歳）・ゆずっこ元気体操参加者（平均79.4歳）が対象。

医師による説明会（事業開始時）
→ テスト実施（チェックツール）→脳の健康度把握
→ テスト実施（チェックツール）→脳の健康度把握
→ 医師による講演会（振り返り）

→ 認知症予防に対する意識の変化・行動変容へ

④　その他の事業（１）

ーゼロカーボンの実現に向けてー

令和７年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE FUTURE

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	生活環境課・管財課

事業名

公共施設照明ＬＥＤ化事業（Ｒ７改修工事対象：６施設）

※脱炭素化推進事業債（充当率：90%、交付税措置率41%）

事業概要

事業費　２００，３３３千円（うち一般財源２２，９３３千円）

「2050年 CO2排出量実質ゼロ」に向けて町全体で取り組む

■計画で設定する目標指標

※1GJ=277.78kw/h　　※１kwh=0.0036GJ%

指　標	2022(R4)【現状値】	2030(R12)【目標値】
事務事業におけるエネルギー消費量	22,297GJ	17,838GJ
主要部分がLED化している公共施設数	15施設	22施設

（第５次毛呂山町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）より）

公共施設のエネルギー消費量削減を目的とした各施設の省エネ化のため、照明LED化工事を実施

■必要財源の担保

交付税措置がある有利な起債の活用

脱炭素化推進事業債（充当率：90%・交付税措置率：41%）

電力消費量の多い高圧受電施設　6施設を対象に改修

■公共施設照明LED化　対象施設と予算額

施設名称	R7予算額（千円）工事+施工監理	年間使用量（kwh）R5.12~R6.11
1.福祉会館（ホール舞台照明を除く）	7,222	122,426
2.学校給食センター	29,259	709,751
3.総合公園体育館・事務室・ 園路等 総合公園グラウンド	105,002	333,233
4.中央公民館	18,700	98,154
5.東公民館（めじろホールを除く）	19,800	61,505
6.歴史民俗資料館	20,350	79,276
合　計	200,333	1,404,345

■予想される効果

- **CO2削減効果（温暖化対策の実践）**→消費電力削減率：51.6%
- **消費電力量の抑制**→電気料金の負担軽減
- **公共施設の利便性向上**（明るくなる）→老朽化設備の更新

新規・重点事業の概要

令和７年度	重点事業概要書	管財課	管財係

事業名	**公用電気自動車整備事業**　※脱炭素化推進事業債（充当率：90％、交付税措置率：30％）
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	１２，０９２千円（うち一般財源１，５９２千円）

■整備の目的

- **毛呂山町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に位置付けられる「移動手段の省エネルギー化」の推進。**

■予想される事業の効果

- **CO2削減効果：車両10第で約6,956kg-CO2の削減効果が見込まれる。**
- **老朽化した出先機関の公用車の更新が図られる。**
  - **・2028年度（5箇年）までに10台を目標に更新。**

■　事業費内訳	単価	数量	金額
①車両本体(乗用)・付属品	2,930,200円	4台	11,721千円
②自賠責・諸経費等	92,510円	4台	371千円
R7事業費計　計			**12,092千円**

※R6購入車両 2台

※R6購入車両 給電口

④　その他の事業（２）

ー安全・安心なまちづくりー

令和７年度毛呂山町一般会計当初予算（案）

FOR THE FUTURE

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	生活環境課	交通防犯係

事業名	**住宅用防犯対策補助事業**
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	５００千円（うち一般財源５００千円）

■事業背景・目的

・首都圏を中心に住宅を狙った凶悪強盗事件が発生している。
・住民の防犯対策への関心が高まっている。

町内における住宅対象侵入窃盗件数　　令和５年：４件　　令和６年：3件（埼玉県警察本部より）

・住民が自主的な犯罪抑止のために行う防犯対策を「住宅用防犯対策補助金」として支援する。
・事業実施により、犯罪のない安全で安心なまちづくりを目指す。

■事業費内訳

対　象	金　額	要　件
町内在住の自らが住む住宅	**支払金額の２分の１** （上限１万円） ※１住宅等につき １回のみ	**①防犯カメラ(自宅撮影目的)** **設置費用及び購入費用** **②屋外人感センサーライト** **設置費用及び購入費用**

■想定される事業効果

・犯罪の抑止
・事件の再発防止
・防犯意識の向上
・警察捜査早期解決の糸口

新規・重点事業の概要

令和７年度	重点事業概要書	まちづくり整備課	道路工務係

事業名	旭台地区雨水排水対策詳細設計業務委託
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	１６，５００千円（うち一般財源１６，５００千円）

旭台地区（東武越生線南側）の慢性的な道路冠水を解消する。

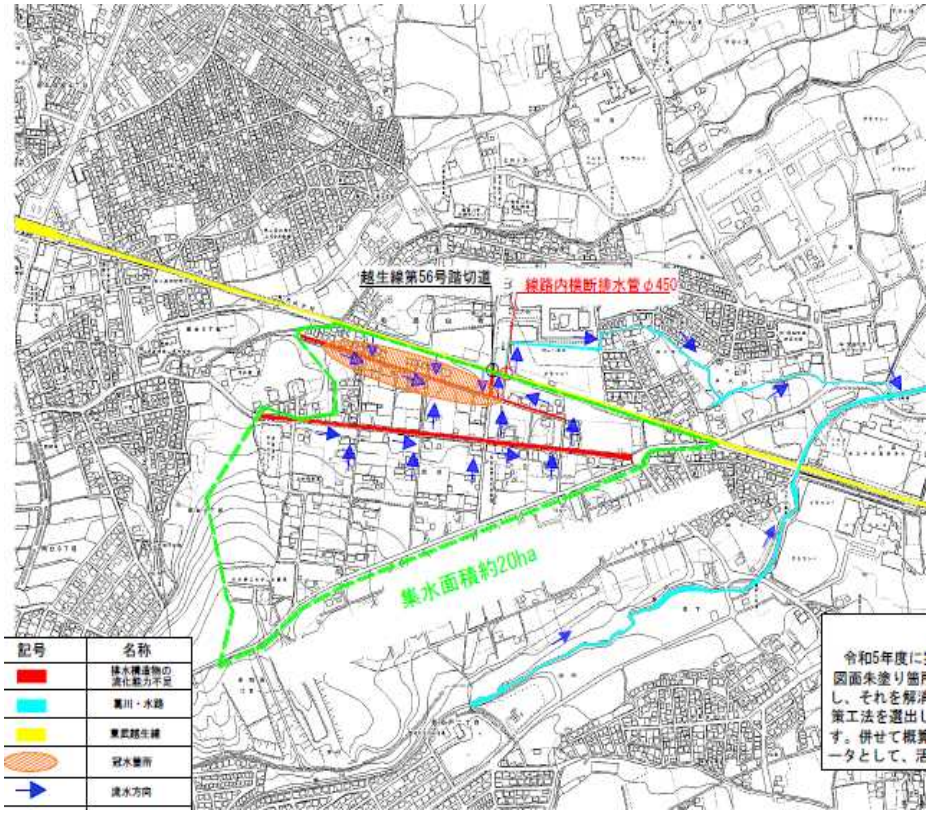
【業務内容】
- 旭台地区雨水排水対策詳細設計業務委託　一式
- 令和６年度に実施する当該箇所の概略設計業務委託により選定される最も適切な工法の詳細設計を実施する。

【予算計上する理由】
- 旭台地区は、大雨時に慢性的な冠水エリアとして、地域住民に多大な被害をもたらしている。それを解消するため、令和５年度に実施した冠水のメカニズムの解明や既存排水構造物の状況調査を基に、６年度に費用対効果を勘案して最も適切な工法を選定し、対策を実施していく必要がある。

【事業効果】
- 当該地区の慢性的な雨水災害を解消し地域の安全を守る。

【その他】
- 令和５年度：旭台地区雨水対策調査業務委託
  受注額:３，８７２，０００円　受注者:東日本総合計画㈱
- 令和６年度：旭台地区雨水対策調査業務委託
  受注額:３，３００，０００円　受注者:東日本総合計画㈱

【詳細図】



新規・重点事業の概要

令和７年度	重点事業概要書	まちづくり整備課	川角駅周辺地区整備係

事業名

川角駅周辺地区整備事業（用地・補償）

※公共事業等債（充当率：90%、交付税措置率：財対分40/90の1/2）補助裏分
　地方道路等整備事業債（充当率：90%、交付税措置なし）継ぎ足し単独分

事業概要

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 9 11 12

事業費　９４，１７２千円（うち一般財源５，５８６千円）

【概　要】
令和６年度に実施している学園口側の駅前広場・アクセス道路等の詳細設計に基づき、事業用地の取得及び物件等の補償を行う。

【業務内容】令和７年度
・駅前広場及びアクセス道路用地買収
　雑種地・畑　約6,100㎡　計83,937千円

・駅前広場及びアクセス道路物件移転等補償料
　工作物、立竹木等　10件　計10,235千円
　合計94,172千円

【今後の事業計画】※事業費は概算額（詳細設計により変動）
（令和８年度）
駅前広場・アクセス道路工事：　245,300千円
電柱等移設補償：　2,500千円
現道拡幅（歩道整備）用地補償：　3,400千円

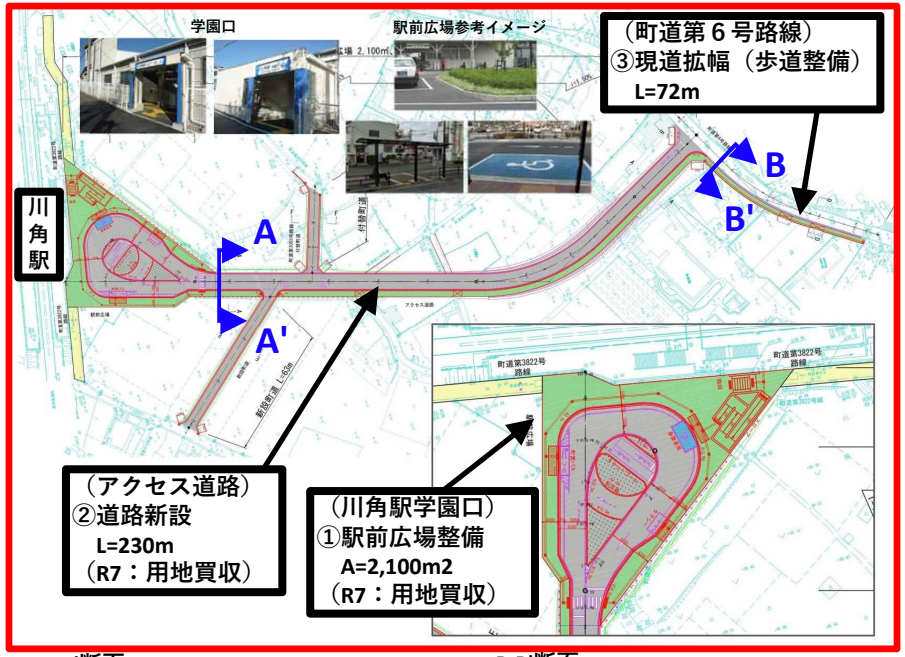
（令和９年度）完成
現道拡幅（歩道整備）工事：　8,300千円
排水路整備工事：　18,300千円
現道電柱等移設補償：　3,000千円

令和７年度以降総事業費：約３．８億円

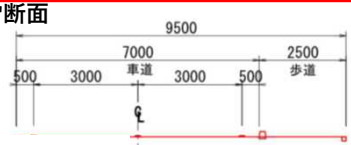
【事業効果】
川角駅周辺の諸課題が改善され、安全・安心な駅前空間が整備されることにより、店舗の立地など地域の活性化に繋がる。

【財源】
・Ｒ７～交通安全対策補助制度（地区内連携）（補助率 55%）
　Ｒ７補助見込額：**38,986千円**（補助対象額：74,615千円）

【事業概要図】



A-A'断面



アクセス道路断面図

B-B'断面

町道第６号路線拡幅計画断面図

新規・重点事業の概要

令和７年度	重点事業概要書	まちづくり整備課	道路工務係

事業名	**東武越生線第55号踏切道拡幅改良事業（市場・下川原地内）**
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	１２，９１４千円（うち一般財源１２，９１４千円）

東武越生線第５５号踏切道の拡幅に伴い、町道及び踏切道の詳細設計を実施する。

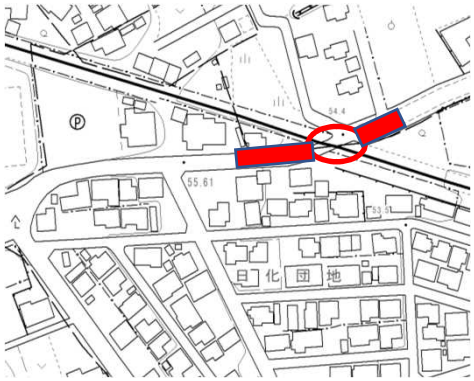
【業務内容】
- 町道７号路線設計業務　L=70.0m　W=9.75m
- 用地補償（東武鉄道所有地）
- 踏切道設計業務（東武鉄道発注）W=4.8m→10.45m

【予算計上する理由】
- 国交大臣から危険な踏切に法指定（踏切道改良促進法）されており、早急な改善が求められている。
- 取り付く町道が線形変更を余儀なくされたこと等を踏まえ、改めて最新の構造基準に基づく踏切道及び町道の設計を行い、速やかに拡幅改良を実施する必要がある。

【事業効果】
- ５５号踏切と前後の取り付け町道とのボトルネック形状を解消し、車両の交互通行を可能にして歩道を設置することにより、通行の安全性と利便性を高めることができる。

【その他】
- 令和８年度　改良工事実施予定
- 東武鉄道㈱と毛呂山町で協定を結び、踏切道の設計・工事は東武鉄道が実施し、事業費は町が全額負担する。

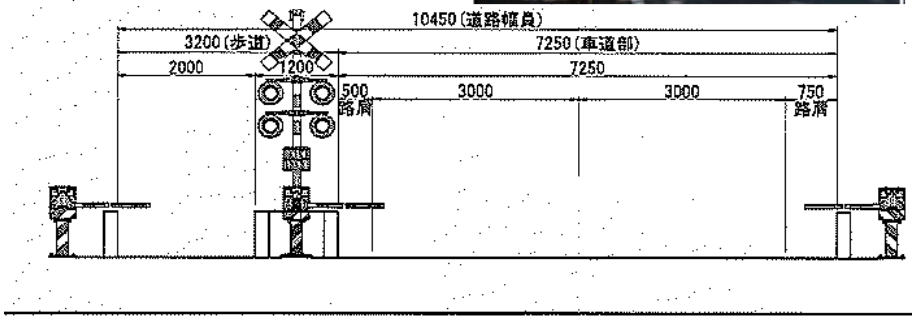
【案内図】



【踏切内　川角駅方面】

【町道７号路線　踏切東側より】

【踏切横断計画図】



新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	生涯学習課	スポーツ振興係

事業名	**毛呂山総合公園体育館空調設備設置事業** ※緊急防災・減災事業債（充当率：100%、交付税措置率：70%）
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	２００，９８０千円（うち一般財源８０千円）

近年の異常気象による猛暑等への対応として総合公園体育館に空調設備を整備する。
【設置箇所】メインアリーナ
サブアリーナ
柔剣道場

■避難所環境の改善

総合公園体育館は災害時の避難所に指定されており、事業実施により避難所環境整備が図られる。
【熱源】
メインアリーナ・サブアリーナ
→通常のＧＨＰを採用。
柔剣道場
→自立型ＧＨＰを採用。
停電時も電源供給が可能。

■施設利用環境の向上

＜外観＞

＜メインアリーナ＞

＜サブアリーナ＞

＜柔剣道場＞

令和６年度：工事設計
予算額：7,934千円

令和７年度：施工監理
・緊急防災・減災事業債を活用
・工程・品質・安全・原価管理
委託費：6,589千円

令和７年度：工事
・緊急防災・減災事業債を活用
メインアリーナ(1,574㎡)
サブアリーナ(426㎡)
柔剣道場(333㎡)
事業費：194,391千円
一般財源 80千円
（施工監理）

【令和７年度参考】
総合公園照明LED化工事
事業費:105,002千円
施工監理　3,311千円
工 事 費101,691千円

新規・重点事業の概要

令和７年度	新規事業概要書	中央公民館	

事業名	**中央公民館講堂空調設備設置事業** ※緊急防災・減災事業債（充当率：100%、交付税措置率：70%）
事業概要	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
事業費	５５，４７５千円（うち一般財源７５千円）

■中央公民館の現状

〇昭和59年建築(築後40年経過)。

〇外壁改修工事は完了しているが、電気設備、空調設備、給排水設備等、老朽化が進んでいる。

〇毛呂山町地域防災計画により避難所として指定されている。

■中央公民館各室状況

〇会議室1･2、展示室、視聴覚室、和室、学習室、調理室、工作室1への空調設備は整備済。
講堂のみ空調が設置されていない。

〇中央公民館は指定避難所となっているため、避難者の居住環境整備を行う必要があり、
避難所環境の向上を目指し、講堂への空調設備の設置を行う。

■工事の概要　緊急防災･減災事業債対象事業(地方債55,400千円･一般財源75千円)

〇講堂北･南壁面に空調機器を設置

〇熱源は電気(EHP)を採用

〇実工事期間:約5カ月

＜講堂北壁面＞

＜講堂南壁面＞

令和７年度毛呂山町一般会計当初予算案の概要

毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

FOR THE FUTURE